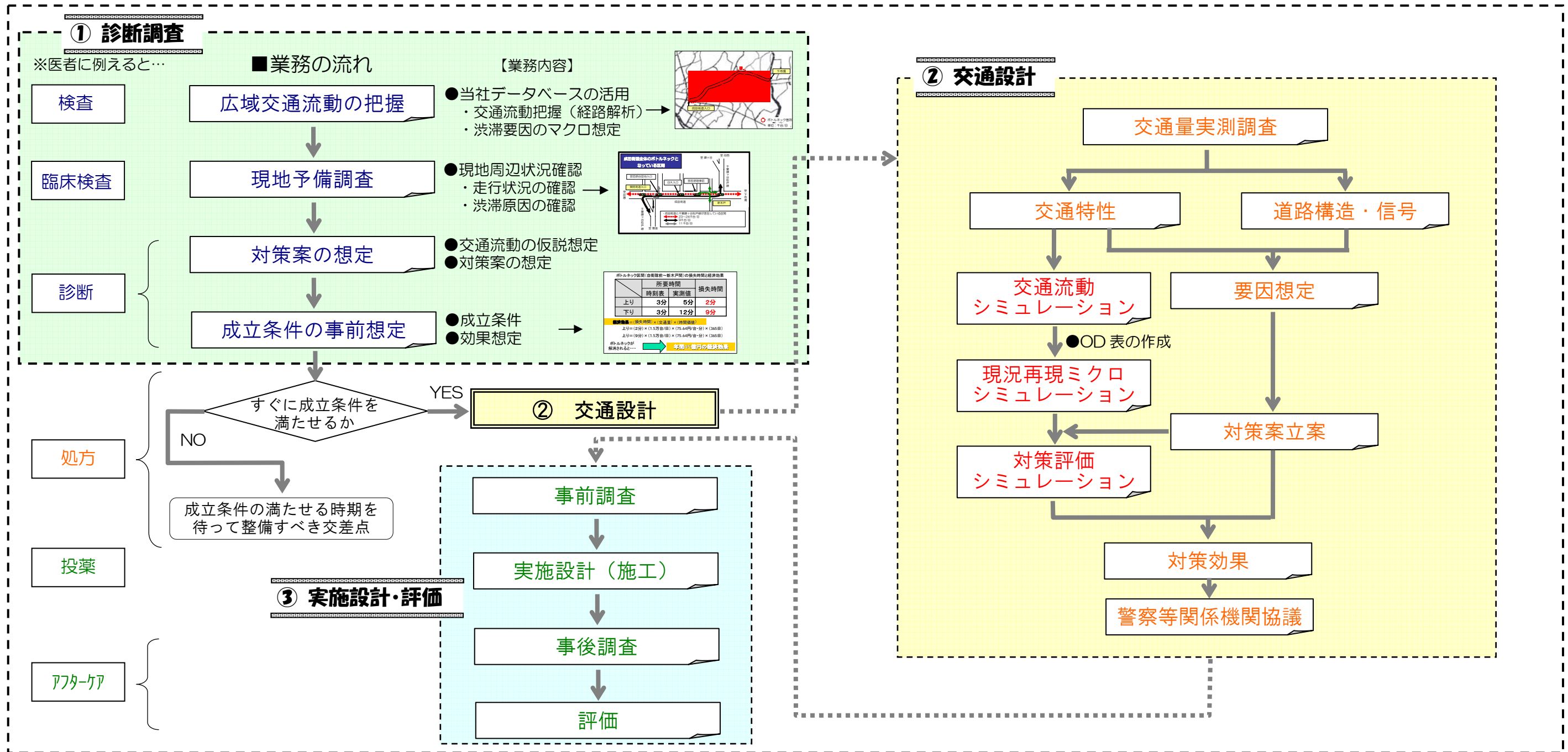


● 「時代のニーズ」に合わせた渋滞改良案をご提案します

- 道路整備の成熟期を迎えた今日、都市部において渋滞問題が顕著となっています。しかしながら、渋滞を根本的に解消するための手法は確立されておらず、多くの渋滞箇所において「手付かず」の状態となっているのが現状です。
- 当社交通計画グループでは、これまでの経験とノウハウを活かすことで、渋滞メカニズムを的確に検証し、予備調査、解析、対策の立案、事前・事後評価までを一貫して行う「渋滞対策診断調査」、「交通設計」、「実施設計・事前事後評価」をご提案します。



● 業務実績

- ☆ 県単道路改良(幹線)及び県単交通安全対策合併委託 (平成 13 年度 千葉県成田土木事務所)
- ☆ 県単交通安全対策委託(土屋交差点詳細設計) (平成 14 年度 千葉県成田土木事務所)

● 評価・企画事例

- ☆ (評価事例) 交差点改良計画プロモーション～成田市土屋交差点を事例に～ (平成 15 年度)
- ☆ (企画事例) 国道 296 号(成田街道)渋滞対策検討企画事例 (平成 15 年度)

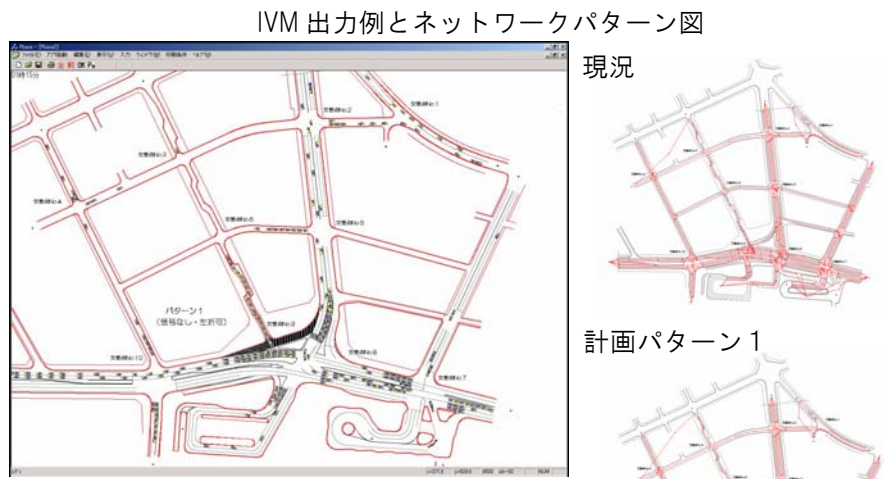
●くるまの動きをアニメーション化し、様々な場面での合意形成を図ります

- 「車両通行規制が周辺道路にどの程度影響するのか」「交差点改良後の車の動きはどうなるのか」「AルートとBルート、どちらに道路を造ればよいか」——このような問題に対し、住民や道路管理者と合意形成をうまく図るにはどのようにすればよいでしょうか。
- 当交通計画グループでは、個々の車両の流動状況をアニメーションとして再現させる「IVM (Individual Vehicle Motion simulate system)」を開発しました。これにより車両流動の視覚的評価が可能となり、交差点改良や道路整備における行政評価・合意形成に役立てられています。

IVMのアウトプット（出力画面）と評価の事例

事例 A

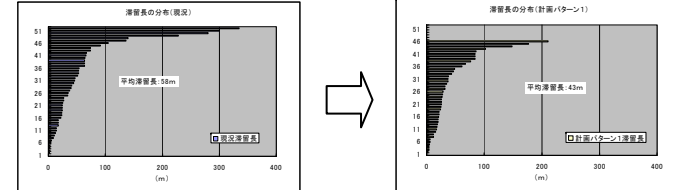
⇒交差点改良及び通行規制時の面的評価



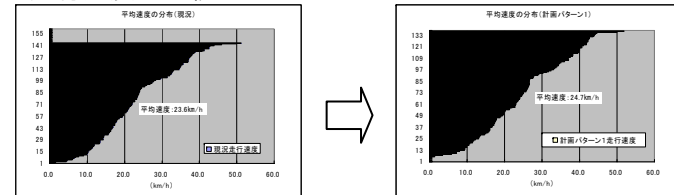
検討区域の滞留長・走行速度評価

| | 現況 | 計画案基本形 | 計画パターン1 | 計画パターン2 | 計画パターン3 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 最大滞留長の平均値 | 58m | 37m | 43m | 43m | 43m |
| 現況比 | — | -21m | -15m | -15m | -15m |
| 走行速度の平均値 | 23.6km/h | 27.5km/h | 24.7km/h | 25.1km/h | 26.0km/h |
| 現況比 | — | +3.9km/h | +1.1km/h | +1.5km/h | +2.4km/h |

滞留長の比較

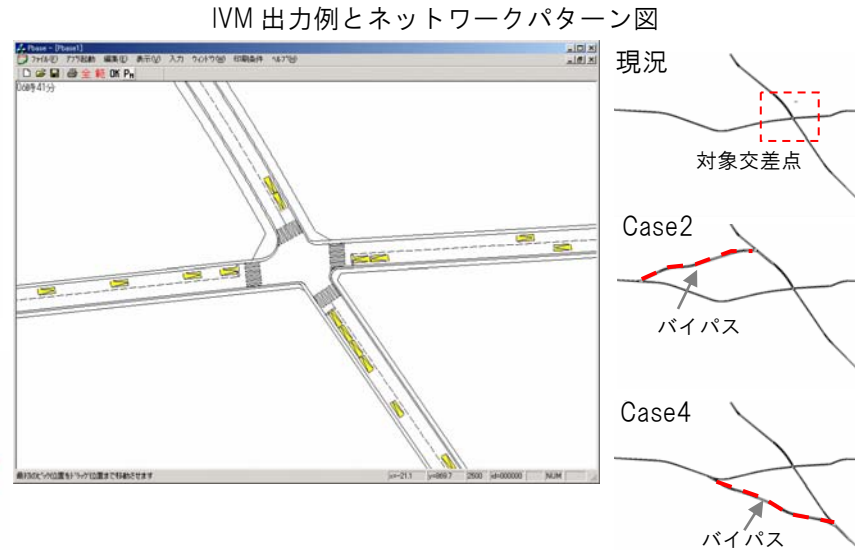


走行速度の比較



事例 B

⇒バイパス新設時の交差点評価



費用便益比 (B/C) の算出

便益表

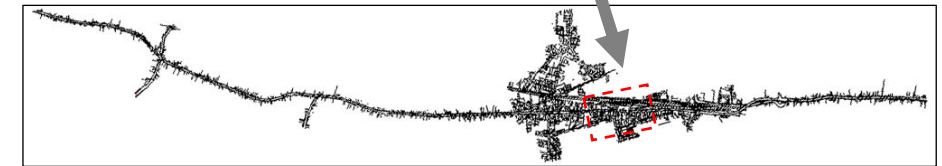
| | 現況 | 現況+付加車線 | Case2 | Case4 |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 損失時間 | 2,973,686 | 2,847,358 | 2,941,330 | 2,784,495 |
| 損失経費 | 590,674 | 588,782 | 586,684 | 569,920 |
| 事故損失 | 149,183 | 149,635 | 168,414 | 156,932 |
| 計 | 3,713,543 | 3,585,776 | 3,696,428 | 3,511,346 |
| 便益(円/日) | — | 127,767 | 17,115 | 202,197 |
| 初年便益(万円) | — | 4,664 | 625 | 7,380 |
| 基準年 | — | 平成15年 | | |
| 供用年 | — | 平成19年 | | |
| 基準年における現在価値(百万円) | — | 867 | 116 | 1,372 |
| 効果比較(対付加車線案) | — | 1.00 | 0.13 | 1.58 |

費用

| | 現況 | 現況+付加車線 | Case2 | Case4 |
|------------------|------|---------|-------|-------|
| 事業費(百万円) | — | 720 | 779 | 800 |
| 基準年における現在価値(百万円) | — | 640.1 | 692.5 | 711.2 |
| 維持管理費(百万円) | — | 0.848 | 5.548 | 7.156 |
| 基準年における現在価値(百万円) | — | 14.9 | 97.6 | 125.9 |
| 基準年における総費用(百万円) | — | 655.0 | 790.1 | 837.1 |
| 費用便益比(CBR) | B/C= | 1.32 | 0.15 | 1.64 |

事例 C

⇒通過交通低減時の経済効果の算出



日刊建設新聞の見出し【H.16.9.26(水)】



● 業務実績

- ☆ 三郷駅周辺の安全で円滑な交通環境づくり検討調査 (平成15年度 三郷市)
- ☆ 千葉外房有料道路利用促進策検討業務委託 (平成16年度 千葉市)
- ☆ 静岡駅北口周辺交通流解析業務委託 (平成15年度 静岡市)
- ☆ 明治地区交通解析調査業務委託 (平成17年度 藤沢市)
- ☆ 県単交通安全対策委託(交差点改良効果調査) (平成15年度 千葉県成田土木事務所)
- ☆ 交差点予備設計その2(南東一すいすい鶴川駅東口) (平成18年度 東京都南多摩東部建設事務所)
- ☆ 道路改良工事(交差点渋滞解消検討業務委託) (平成16年度 埼玉県本庄県土整備事務所)
- ☆ 地域高規格道路千葉中環状道路(穴川区間)事業化検討業務 (平成19年度 千葉市)